

INFORMATION



公益信託 成茂神経科学研究助成基金 2005年度応募者募集のお知らせ

当基金は、下記募集要項により本年度応募者を募集致します。

記

[募集要項]

1. 助成対象

- (1) 神経科学の研究に対する研究費の補助、奨励金の交付。
助成金額：1件あたり30～50万円程度
- (2) 神経科学に関する海外の学会に参加・発表するための渡航費の補助（対象 平成17年7月～平成18年6月までに開催される海外での学会）
助成金額：1件あたり10～20万円程度
- (3) 神経科学に関する講演会・研究集会等の開催、外国学者の招聘又は論文発表、図書の刊行等に対する費用の補助。

助成金額：1件あたり20～30万円程度

2. 応募資格

- (1) 国内の研究機関に所属する研究者とします。
- (2) 学部生・大学院生は対象外とする。
- (3) 若手研究者（40才以下）を優先する。
- (4) 申込は一人1対象項目とする。

3. 応募期限 2005年5月31日（必着）

4. 応募要項請求先

応募要領及び申込書は、返信用封筒（長形3号，80円切手）を同封の上，下記宛請求して下さい。

＜公益信託 成茂神経科学研究助成基金事務局＞
〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱信託銀行リテール受託業務部
受託相談グループ

以上



平成18年度日米科学技術協力事業「脳研究」分野各種事業募集

日米科学技術協力事業は、「科学技術における研究開発のための協力に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定（昭和63年6月20日締結）」に基づいて実施されている研究開発事業です。「脳研究」分野については自然科学研究機構 生理学研究所が協力事業の計画，実施を担当しています。

日米科学技術協力事業「脳研究」分野代表者
自然科学研究機構 生理学研究所長 水野 昇

○募集事業

●共通応募資格：国・公・私立大学及び関連する研究機関において脳研究に従事する研究者

1 共同研究者派遣

応募資格

脳研究に従事する若手研究者（概ね35歳以下）

派遣期間

短期 1ヶ月程度（3名程度）

長期 3ヶ月以上9ヶ月以内（3名程度）

2 グループ共同研究

応募資格 脳研究に従事する研究者

研究期間

平成18年度から2～3年間(1～2件程度)

3 情報交換セミナー

応募資格

脳研究に従事する研究者

なお、実施組織は日米両国の各10名程度の研究者によって組織すること。

開催時期

平成18年6月～平成19年2月(2～3件程度)

○研究分野 脳一般に関する研究

- (1) 認知と学習の神経機構に関する研究
- (2) 運動の発現・制御の神経機構に関する研究
- (3) 情動・記憶の神経機構に関する研究
- (4) その他

○申請受付期限 平成17年9月9日(金)

○申請に係る詳細及び書式等については、下記ホームページを参照ください。

ホームページ <http://www.nips.ac.jp/jusnou/>

○問合せ先

(研究関係)

生理学研究所 教授 定藤規弘

tel: 0564-55-7841, e-mail: sadato@nips.ac.jp

(事務関係)

岡崎統合事務センター総務部国際研究協力課
日米担当

〒444-8585

愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地

tel: 0564-55-7137, fax: 0564-55-7119,

e-mail: japan-us-brcp@orion.ac.jp



うま味研究会公開シンポジウム

「素材のおいしさを科学する」

日時: 2005年5月20日(金) 10:00～17:00

場所: 経団連会館 千代田区大手町1-9-4

事前参加登録: あり(下記参照)

【プログラム】

1. 「和食のおいしさを支えるショウガや山椒のもつ多様なフレーバー」

久保田紀久枝(お茶の水女子大学 生活科学部 食物栄養学科)

2. 「小麦粉製品の組織構造と食感についての考察」

前田 竜郎(日清製粉グループ本社 R & D・品質管理本部)

3. 「かつおだしのおいしさ解析と商品開発への応用」

川口 和宏(味の素株式会社 商品開発センター)

4. 「チョコレートのおいしさを科学する」

(森永製菓株式会社)

5. 「味覚順応に関わる分子の検索—小腸細胞を用いた試み—」

齊藤 修(長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部)

6. 「素材のおいしさを測る—生物学的アプローチ—」

潮 秀樹(東京海洋大学 海洋食品科学科)

7. 「味センサーでおいしさを科学する」

池崎 秀和(株式会社インテリジェントセンサーテクノロジー)

8. 「酒のおいしさ—古典からさぐる—」

一島 英治(創価大学 生命情報工学科)

9. 総合討論(パネルディスカッション)

参加費: 1,000円, 当日受付にて申し受けます。

申し込み要領:

うま味研究会ホームページ <http://www.srut.org> からお申込みください。Fax・葉書でお申し込みの場合は氏名, 所属, 住所, 電話番号, Fax番号を明記のうえ, 下記宛てにお送りください。定員(300名)になりましたら締め切らせて頂きます。

連絡先: うま味研究会事務局

〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1

TEL: 03-5250-8184 FAX: 03-5250-8403

E-mail: umami@srut.org



第22回睡眠環境シンポジウム

会 期：平成17年5月14日（土）

会 場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

第22回睡眠環境シンポジウムは、「寝装品販売のための測定とコンピュータシステムのビジネスモデルの現状と今後の展望」と題し、そのテクノロジーについて紹介、検討の場としたいと考えます。これにより寝具寝装品を科学的積み重ねにより開発し、消費者により良い睡眠を提供することが出来ます。寝具業界の方に興味のある内容と思われまます。盛大に開催したいと存じますので、会員の皆様におかれましては、是非とも、ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。本年も技術報告の頁を設けますので、睡眠と環境にかかわる企業での新技術の発表、新製品の紹介等を下さいますよう、お願い申し上げます。技術報告は報告集の「技術レポート」に掲載いたします。

記

大会長：館 親光（ヤカタ株式会社）

会 期：平成17年5月14日（土）10：00～

会 場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

（JR市ヶ谷駅から徒歩5分）

内 容：(1) 招待講演、(2) パネル討論、(3) 公募研究論文の発表

主 催：日本睡眠環境学会

協 賛：

全日本寝具寝装品協会、全日本ベッド工業会、日本睡眠学会、人間生活環境系学会、空気調和・衛生工学会、人類働態学会、日本伝熱学会、日本生気象学会、計測自動制御学会、日本生理人類学会、日本家政学会、日本産業衛生学会、日本生理学会、日本ME学会、日本人間工学会、日本機械学会、日本建築学会、日本労働衛生工学会、電気学会、日本冷凍空調学会、繊維学会、日本繊維製品消費科学会、日本住宅設備システム協会、日本繊維機械学会、日本建築協会、日本病院設備協会、

日本熱物性学会、全国ビルメンテナンス協会、日本温泉気候物理医学会（予定）

後 援：経済産業省（予定）

参加申込締切日：

平成17年4月末日

参加費：

日本睡眠環境学会会員7,000円、非会員14,000円、学生4,000円

懇親会費：8,000円

参加費等振込先：

郵便振替00150-1-500798（第22回睡眠環境シンポジウム実行委員会）

入会申込先：

日本睡眠環境学会に入会の申込みは、日本睡眠環境学会事務局に、ご連絡下さい。年会費は5,000円です。

郵便振替 00230-8-45966（日本睡眠環境学会）
実行委員会：

館 親光（委員長）、犬山義昭（大会事務局）、荒川一成、大出 広、黒田 稔、河野郁夫、鈴木耕輔、鈴木敏夫、菅原作雄、只野 悟、中川雅彦、藤田一平、松下耕平、山崎 直、梶井宏修（学会長）、川島美勝（学会事務局長）

発表・参加申込先：

〒171-0022 東京都豊島区南池袋3-18-40
SHIMAビル2F

ヤカタ（株）内 第22回睡眠環境シンポジウム実行委員会

TEL：03-5960-7756 FAX：03-5960-7785

E-mail：info@sleepsupport.info

学会事務局：

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室671-7
日本睡眠環境学会

TEL/FAX：048-723-3606

E-mail：sse@futon-center.com

<http://www.sleep-environment.jp>



第16回 生理学研究所 生理科学実験技術トレーニングコース

“生体機能の解明に向けて” —分子・細胞レベルからシステムまで—

日時：2005年8月1日（月）～8月5日（金）
場所：自然科学研究機構 生理学研究所（明大寺地区，山手地区）
主催：自然科学研究機構 生理学研究所
共催：

日本生理学会，日本神経科学学会，自然科学研究機構「バイオ分子センサー連携研究プロジェクト」，特定領域研究「統合脳」総括班研究者育成支援委員会

募集人員：約150名

受講料：10,200円（予定）

参加対象：

大学院生（修士，博士），学部学生，若手研究者（企業の研究者を含む）

申込方法：ホームページ上でのオンライン登録

申込期日：

2005年5月1日（日）～6月3日（金）

ホームページ：

<http://www.nips.ac.jp/training/2005/>

連絡先：

井本 敬二（いもと けいじ）生理学研究所 神経シグナル部門

〒444-8787 愛知県岡崎市明大寺町字東山5-1

TEL：0564-59-5886，FAX：0564-59-5891

E-mail：training@nips.ac.jp

トレーニングコースの概要

講演：

「大脳の局所神経回路」

川口 泰雄（生理学研究所 大脳神経回路論研究部門）

実習：

1. 位相差断層電子顕微鏡の原理と実践
2. 凍結断層レプリカ免疫標識法
3. in situ hybridization法を用いた二重染色法

4. 超高压電子顕微鏡による生物試料の立体観察
- 5A. 局所神経回路構築の形態学的解析 A—光顕2重染色法
- 5B. 局所神経回路構築の形態学的解析 B—超薄連続切片シナプス観察法
6. 2光子励起顕微鏡法によるシナプス・開口放出の研究
7. パッチクランプ基礎実験技術法
- 8A. パッチクランプバイオセンサー法 A：パッチクランプバイオセンサー法によるATP放出解析
- 8B. パッチクランプバイオセンサー法 B：穿孔パッチクランプバイオセンサー法による細胞内シグナル伝達解析
- 8C. パッチクランプバイオセンサー法 C：パッチクランプバイオセンサー法による温度受容解析
9. in vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容体の機能解析
- 10A. スライスパッチクランプ法 A：初心者体験コース
- 10B. スライスパッチクランプ法 B：一般コース
11. ゼブラフィッシュを用いた神経回路機能の解析
12. 摂食・飲水行動発現機構入門
13. 電気生理学及び心理物理学的手法による視知覚メカニズムの解析
14. 麻酔下動物での電気生理実験
15. 慢性動物実験法入門
16. 脳磁図によるヒト脳機能研究の基礎
17. 脳機能画像解析入門
18. 生理学実験のための電気回路・機械工作—OPアンプによる増幅器とチェンバー作製—